

留学・研究休暇教育職員

2014年度 留学教育職員

2014年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	留学先	目的
人文学部	SAGAYARAJ, Antonyamy	准教授	2013.4.1～2014.9.15	国内 国立民族学博物館民族文化研究部	南インド・タミルナドゥ州におけるドラヴィダ運動についての人類的研究
外国語学部	泉水浩隆	准教授	2014.4.1～2015.3.31	国内 上智大学国際言語情報研究所	これまで行ってきた「スペイン語のイントネーションの知覚に関する実験音声学的研究」をさらに深化させ、一連の研究を学位論文としてまとめて博士の学位を取得するため。
	大竹弘二	准教授	2014.9.1～2015.8.31	ドイツ連邦共和国 ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学	現代ドイツの政治・社会倫理についての研究、およびこの分野の研究者たちとの学術交流を通じて、自らの専門領域に関する知識をいっそう深め、論文等の学術的成果を上げるため。
	花木亨	准教授	2013.8.19～2014.8.18	アメリカ合衆国 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校コミュニケーション学科	アメリカ合衆国と日本におけるコミュニケーション現象についての研究
総合政策学部	佐々木陽子	講師	2014.9.6～2015.9.5	パレスチナ自治政府 Department of Social Science, Bethlehem University	多文化共生のためのコミュニケーションにおける芸術活動と社会アイデンティティに関する研究
理工学部	吉田敦	教授	2013.3.15～2014.8.29	カナダ クイーンズ大学	構文規則から逸脱した記述を許容するプログラム解析系の構築手法に関する研究
	横山哲郎	准教授	2014.3.1～2015.2.28	連合王国 オックスフォード大学	可逆計算と双方変換に関する研究

2014年度 研究休暇教育職員

2014年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	研究休暇先	目的
人文学部	アッセマ庸代	准教授	2014.4.1～2014.9.15	研究室および自宅	生命科学における死生学研究のアプローチ法を考察すると共に、大学教育における死生学の在り様を検討する。
	坂井信三	教授	2014.4.1～2015.3.31	主として大学研究室および自宅。一時フランスまたはマリ共和国での調査を予定。	西アフリカのイスラーム史研究の深化
	横山輝雄	教授	2014.9.16～2015.9.15	主として大学研究室および自宅。(必要に応じて国内外の学会・研究会への参加、研究機関などでの調査)	1. 社会構成主義科学論の歴史的総括 2. 進化思想史の現代的再構成
	斎藤衛	教授	2014.9.16～2015.9.15	研究室、自宅、アメリカ合衆国	1. 日本語文法を特徴付ける基本的なパラメータの研究 2. 意味と統語のインターフェイスに関する研究
	西岡淳	教授	2013.9.16～2014.9.15	国内(主として自宅および本学研究室)	南宋詩に関する研究の深化および蘇軾詩の注解原稿作成のため
外国語学部	蔡毅	教授	2014.4.1～2015.3.31	自宅、大学研究室、上海図書館(中華人民共和国)、中央研究院(台湾)	中国における日本漢文学の受容
	COURRON, David	准教授	2014.4.1～2015.3.31	自宅、大学研究室、フランス国立図書館(フランス共和国)、シンガポール国立大学図書館(シンガポール)	2008年7月23日のフランスにおける憲法改正の実施について
	DORMAN, Benjamin	教授	2014.9.1～2015.8.31	国内と University of Hawaii	スピリチュアルビジネスの表象—ハワイ観光の事例から探求する
法学部	青木清	教授	2014.9.1～2015.8.31	自宅、研究室および韓国の大学	1. 変貌する韓国社会と韓国家族法の実相 2. 日韓渉外関係の理論と実務
法務研究科	今泉邦子	教授	2014.9.9～2015.9.8	University of Washington(アメリカ合衆国)	取締役の責任の法理、組織再編および証券取引の観点から、アメリカ法の比較検討を行う。
総合政策学部	CAVALLAR, Osvaldo	教授	2014.9.15～2015.9.14	研究室、自宅およびドイツ・バチカン・イタリア	Bartolus de Saxoferrato の Tiberiadis 写本研究

2014年度 教員交流

2014年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	研究休暇先	目的
総合政策学部	MUNCADA, Felipe	教授	2014.4.1～2014.9.14	フィリピン共和国 サン・カルロス大学社会人類学部	学術交流協定に基づく教育・研究の推進のため